

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 6 月 7 日 (2007.6.7)

【公開番号】特開 2006-40553 (P2006-40553A)
 【公開日】平成 18 年 2 月 9 日 (2006.2.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-006
 【出願番号】特願 2004-214027 (P2004-214027)
 【国際特許分類】

H 0 1 M 8/04 (2006.01)

C 0 1 B 3/38 (2006.01)

H 0 1 M 8/06 (2006.01)

H 0 1 M 8/10 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 8/04 J

C 0 1 B 3/38

H 0 1 M 8/06 G

H 0 1 M 8/06 W

H 0 1 M 8/10

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原料と水蒸気から改質反応により水素を含む改質ガスを生成する改質器を有する水素生成器と、前記水素生成器から供給される水素を含む燃料と酸素を含む酸化剤とを用いて発電を行う燃料電池と、
 前記燃料電池を所定の温度に維持するための冷却水が循環する冷却水循環経路と、
 前記改質器に供給される水蒸気のための水を供給する水供給経路と、
 水タンクとを備え、
 前記水タンクは、第 1 貯水部と第 2 貯水部とに分割され、
 前記第 1 貯水部は、前記水供給経路と連通し、前記第 2 貯水部は、前記冷却水循環経路と連通し、
かつ、前記第 2 貯水部の水位が、前記第 1 貯水部の水位よりも低くなるよう構成されていることを特徴とする燃料電池システム。

【請求項 2】

前記第 2 貯水部の容量は、前記第 1 貯水部の容量より大きいことを特徴とする請求項 1 に記載の燃料電池システム。

【請求項 3】

前記第 1 貯水部と前記第 2 貯水部とを繋ぐ連通部と、前記第 2 貯水部にオーバーフロー口とを有し、前記連通部の高さは前記オーバーフロー口の高さより高いことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の燃料電池システム。

【請求項 4】

前記燃料電池の燃料オフガス及び酸化剤オフガスの少なくとも一方から回収した凝縮水を貯える凝縮水タンクを備え、前記オーバーフロー口は前記凝縮水タンクと連結していること

を特徴とする請求項 3 記載の燃料電池システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記課題を解決するための、第 1 の本発明に係る燃料電池システムは、原料と水蒸気から改質反応により水素を含む改質ガスを生成する改質器を有する水素生成器と、前記水素生成器から供給される水素を含む燃料と酸素を含む酸化剤とを用いて発電を行う燃料電池と、前記燃料電池を所定の温度に維持するための冷却水が循環する冷却水循環経路と、前記改質器に供給される水蒸気のための水を供給する水供給経路と、水タンクとを備え、前記水タンクは、第 1 貯水部と第 2 貯水部とに分割され、前記第 1 貯水部は、前記水供給経路と連通し、前記第 2 貯水部は、前記冷却水循環経路と連通し、かつ、前記第 2 貯水部の水位が、前記第 1 貯水部の水位よりも低くなるよう構成されていることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、前記第 1 貯水部と前記第 2 貯水部とを繋ぐ連通部と、第 2 貯水部にオーバーフロー口とを有し、前記連通部の高さは前記オーバーフロー口の高さより高くても良い。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、前記燃料電池の燃料オフガス及び酸化剤オフガスの少なくとも一方から回収した

凝縮水を貯える凝縮水タンクを備え、前記オーバーフロー口は前記凝縮水タンクに連結して
も良い。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】